

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年3月12日 (2015.3.12)

【公開番号】特開2014-195468(P2014-195468A)

【公開日】平成26年10月16日 (2014.10.16)

【年通号数】公開・登録公報2014-057

【出願番号】特願2014-130312(P2014-130312)

【国際特許分類】

A 2 3 K 1/18 (2006.01)

A 2 3 K 1/16 (2006.01)

【F I】

A 2 3 K 1/18 A

A 2 3 K 1/16 3 0 1 F

A 2 3 K 1/16 3 0 2 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月26日 (2015.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

成体コンパニオンペットの精神能力の衰退開始の阻害方法であって、ペットが少なくとも 2 歳であるときに前記ペットに、この阻害を達成するのに足る量の酸化防止剤または酸化防止剤の混合物を含む食餌を与えることを含んでなり、酸化防止剤の量は食餌の少なくとも 25 ppm である、前記方法。

【請求項 2】

ペットがイヌである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

ペットがネコである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

ビタミン E を、食餌の少なくとも 100 ppm の量でペットに与える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

ビタミン C、L-カルニチン、 α -リボ酸及びその混合物からなる群より選択される酸化防止剤をペットに与える、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

ビタミン C、L-カルニチン、 α -リボ酸及びその混合物からなる群より選択される酸化防止剤をペットに与える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

ビタミン C を、食餌の少なくとも 50 ppm の量でペットに与える、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

α -リボ酸を、食餌の少なくとも 25 ppm の量でペットに与える、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

L-カルニチンを、食餌の少なくとも 50 ppm の量でペットに与える、請求項 6 に記

載の方法。

【請求項 10】

ペットが少なくとも2歳であるときに前記ペットに、栄養所要量を満たす食餌を与えることを含んでなり、前記食餌が少なくとも25ppmのリボ酸を有し、前記食餌を少なくとも1カ月与える、請求項1に記載の方法。